



いせはら生涯学習 ボランティア協会ニュース

第 293 号 2025 年 7 月号

会長 逢坂 伸一

新会長挨拶 ー共に生きる 高齢者と若者、そして家族ー 逢坂伸一

先日、ある町の教育委員会が主催する「ヤングケアラーの現状と対策について」という勉強会に参加しました。長期欠席者のうちのかかなりの児童・生徒の欠席理由が家族内に彼らであっても介護を余儀なくされる場合があることに気づいてはいたものの、解決策の検討には至らず、子ども若者育成支援推進法の一部改正(令和6年)によって、ようやく具体的な話題となったと言われております。経済的支援の強化などの拡充が重点ですが、児童・生徒の学習環境改善などについての検討はまだまだということでした。

文科省調査(令和2年度)では、「世話をしている家族がいる」(中学2年生5.7%、高校2年生4.1%)、その理由は、“宿題や勉強の時間や自分の時間が取れない、睡眠が十分に取れないし、友人と遊ぶこともできない”、などだそうです。

勉強会での報告を聞きながら、少し方向は違うと思いつつも、学生時代の「地方行政史」という講座の中で記憶していた“福島県の農村の子供達の暮らし”という資料の一文を思い出しました。“7、8歳の兄は牛を曳き、妹は親の弁当を持って山の中腹の畑に急ぐ”という内容であったと思います。その頃の子供達は、家族と一体となって労働することが日常生活であり、ヤング

ケアラーという今日の環境との違いについて思いを巡らしておりました。

ヤングケアラーという環境は不幸なことではありますが、だからと言って、経済的支援ばかりに目をやるのではなく、また、支援を受けざるを得ない家族のことと学業を中断してまで手助けをする児童・生徒のことに分けて検討するのではなく、一体となった環境整備の目線での支援検証をすべきではなかろうかと思うに至っている次第です。

すなわち、学業については学校関係施策として、家族の福祉問題はそれぞれの支援施策として検討するというのではなく、一体感を持って対応するということです。

そして、私たちは、ヤングケアラーにおける家族関係を見つめ直すばかりでなく、例えば、「いせはら生涯学習ボランティア協会」でも話題となっている、“高齢者と若者交流の大切さ”などについても同様な観点での見直しを考えるべきでしょう。区別して、個々の問題点を論ずるのではなく、常に、相互に寄り添うべきは何かということをも市民活動の主要論点として話し合うべきではないでしょうか。お互いに、笑顔の絶えない市民のいるマチの出現を待ちたいと思いました。

(2025年5月記す)

いせはら生涯学習ボランティア協会第26回総会開催

去る5月22日(木)13時30分より中央公民館3階会議室Aに於いて、生涯学習ボランティア協会第26回定期総会が開催されました。

東司会者の第一声で開会宣言があり、梶田会長の挨拶から総会は始まりました。続いて日頃より多大なご協力を頂いております萩原伊勢原市長を始め、教育長ほか沢山の来賓の皆様方より心温まる激励の言葉を頂戴致しました。更に加入団体の鳥海観光ボラ会長や滝沢甲冑隊隊長から「更により良い関係を構築して参りましょう」との挨拶後、全員で写真撮影をしました。

その後10分間の休憩後、東さんの司会により天野議長が選出され、第1号議案から審議が始まりました。第1号議案は会則の一部変更案(会費の値上げ)は諸物価高騰の折、致し方ないとの事で異議無く了承されました。

第2号及び第3号議案は活動報告及び会

計報告・会計監査報告は異議無く承認され、活動計画並びに予算案も可決されました。

新役員承認・挨拶の後、天野議長の解任と木村さんの「閉会の言葉」で第1部総会は終了しました。

少しの時間を頂き、飲み物とお菓子が配られ第2部懇親会(ミニ音楽会)の始まりです。最初に、スマイルクラブでダンス3曲を鑑賞させて頂き、次に三浦さんの素晴らしい声での詩吟を堪能させて頂きました。最後にジャンボチェカによる演奏で、全員での合唱と最後の曲目「上を向いて歩こう」の曲を歌い上げ、窪谷さんの閉会の言葉を以て幕となりました。

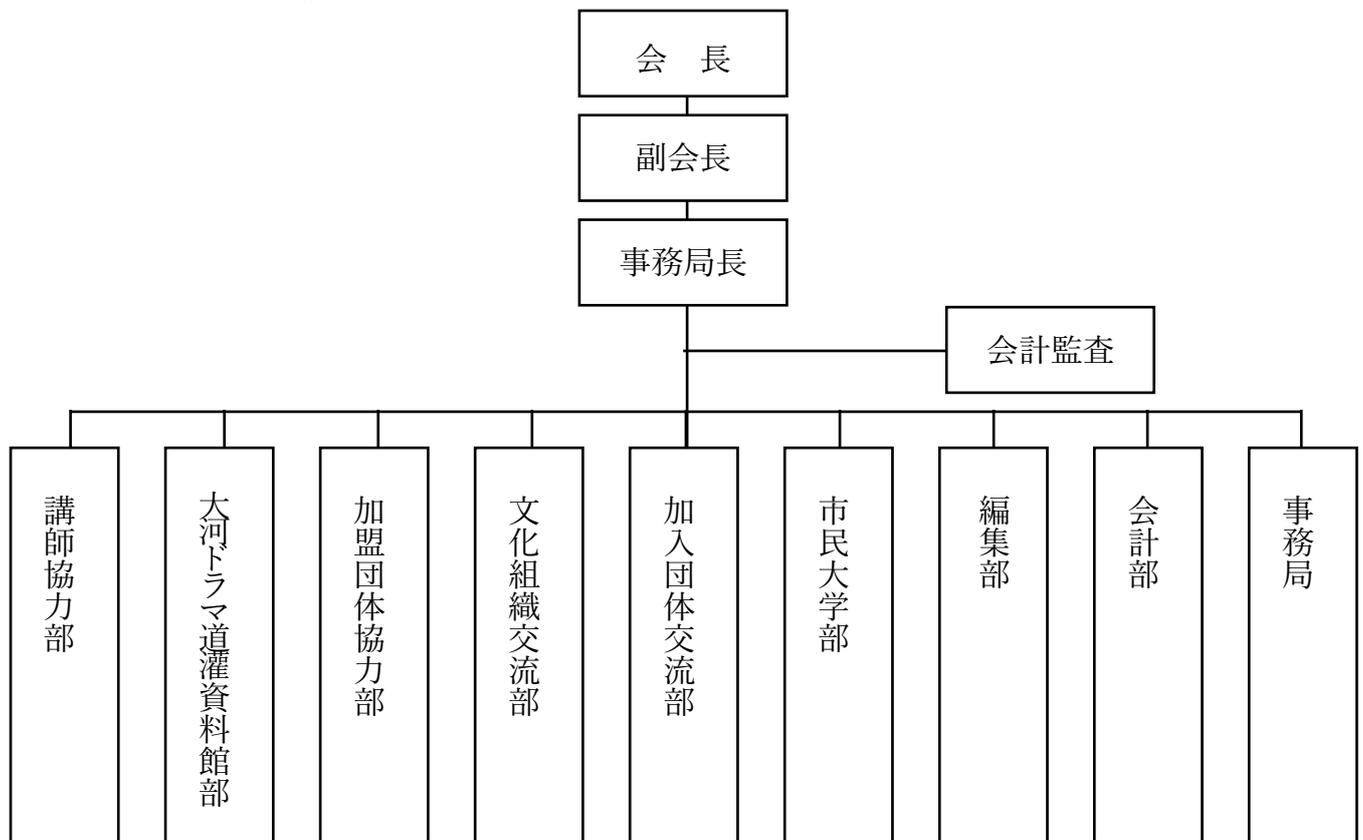
以上のような流れで総会は無事に終了致しました。今後は逢坂会長の下、会員全員が協力し、学ボラ及び市民大学の活動をより良く、より実りあるものとなるように努力して行く事が肝心かと思えます。

(T.T)



参加者の集合写真

新組織図



第30回記念 伊勢原市展

令和7年の伊勢原市展は第30回目を迎え、多数の来場者で賑わっています。

前期（絵画・版画・彫刻、陶・工芸）が6月11日（水）～15日（日）、後期（書、写真）は6月25日（水）～29日（日）と開催され、素晴らしい作品が並んでいます。是非ご鑑賞にいらして下さい。

我々学ボラのメンバー達も受付等で毎年お手伝いをしています、この展覧会で皆さんの大作にふれ感動しています。



会員の皆様へ会費納入のお願い

先の第25回いせはら生涯学習ボランティア協会総会に於いて協会の会則が改訂され、会員の年会費が¥1,500になりました。

いまだ会費を納入されていない方は、なるべく早い機会に会計係宛、納入頂くようお願い申し上げます。

よろしくお願いします



役員会議予定表

No.	月日		開催曜日		開始時間	行事内容	該当者	場所
			番号	曜日				
1	7	10	第2	木曜	14:00	専門部会	該当役員	中央公民館 第一会議室
					14:00	事務局会議		
2	7	24	第4	木曜	14:00	役員会	役員全員	同上
3	8	14	第2	木曜	14:00	専門部会	該当役員	未定
					14:00	事務局会議		
4	8	28	第4	木曜	14:00	役員会	役員全員	同上

“編集後記”

総会を経て新しい活動がスタートしましたが、梅雨時とは思われない猛暑の毎日にとやろうとしていた事ができません。

最たるものが今年から編集を担当することですが、印刷の事は若干知ってはいても、原稿作りや取材方法、編集の仕方は組織毎に違う為、聞きながら進める事になります。「あれはどうしたの？これは？」と言われて慌てる事がありそうです。まあ、2～3回もやれば大丈夫と思いますけど。

全体のスケジュールを頭に入れて、各項目の割振や進捗状況をチェックできるようにしなければならない。他の人の助けを借りてよりよい協会ニュースを作りたいと思う今日この頃です。(K. S)

【gakubora2024@gmail.com】